

(1) 研究主題

一人一人が輝き、学び合う子をめざして

—— 相手意識をもって話したり聞いたりする授業を通して ——

(2) 主題設定の理由

学校教育目標「一人一人が輝き、共に生きる高松っ子の育成」を受けて本主題を設定した。

主題設定の理由は以下に詳述する。

① これまでの研究成果を生かして

変化の激しいこれからの社会を生きるために、確かな学力および豊かな人間性、健康と体力の重要性が指摘されている。本校では、平成 15 年度より研究テーマを「一人一人が輝き、学び合う子をめざして」とし、一人一人のよさを発揮しながら互いを認め、高め合う姿を求めてそれに応える授業づくりを探究してきた。平成 22 年度は、文部科学省委嘱事業実践中心校の指定を受け、「栄養教諭を中核とした食育推進事業」に取り組んだ。副題を「かかわり合いや体験活動を生かした食育の実践を通して」と設定し、食に関する指導を充実させ、健全な食生活を実践する力と、食の恵みや携わる人々への感謝の気持ちを育てていこうと考え実践した。そして、平成 23 年度は、これまでの研究の成果と課題をふり返り、子どもの実態を見つめ直す中で、副題を「相手意識をもって話したり聞いたりする授業を通して」と設定し、学び合いに必要である言語活動の充実をめざし実践してきた。これまで積み上げてきた実践と成果を生かし、学習課題の明確化、高まりのある学び合い、そして児童の変容をとらえ指導に生かす評価をキーワードに授業研究を充実させ、授業力向上を図ってきた。

昨年度より 3 年間にわたり、「いしかわ学びの指針 12 か条推進校」の指定を受けた。主題・副題をそのまま継続し「いしかわ学びの指針 12 か条」をもとに、子どもの実態を見直し、それに応じた指導の工夫改善を進めた。特に【5 条 相手を意識して「話す力」「聞く力」を身に付ける】【6 条 学び合い学習を充実】に重点をおき、よりよい学び方や学習習慣・生活習慣を身に付けることに取り組んだ。今年度は、昨年度の実践を継続し、思考力・判断力・表現力を高める指導を行いながら、研修主題に迫ろうと考えた。

② 一人一人が輝き、学び合う子の姿とは

子どもは、自らの課題に対し「やってみよう」「自分でできそう」と感じて主体的に取り組もうとしている時や、夢中になって取り組み自ら成し遂げた時、「楽しい」「できて嬉しい」などと達成感を味わっている時に、嬉々とした感情にあふれ輝いて見える。このことから、一人一人が輝くというのは、子どもが学ぶ楽しさを実感し、自己の存在を意識できた時に見せる生き生きとした姿であると捉えた。

一方、こうした姿は集団での学び合いの中に多く見出すことができる。私たちがめざす学び合う子の姿は、子どもが自らの課題解決に向け取り組む際に「みんなと一緒にやりたい」「私の考えをわかってほしい」「友達の思いを聞きたい」「わかり合えて嬉しい」「聞いて考えが深まった」というように、相手意識をもち、集団で学ぶよさを感じられる子の姿である。

③ 今日的な課題を受けて

ア. 課題解決型の授業

これからの学校教育のめざすべき方向は確かな学力であり、それを基盤とした生きる力の育成といわれている。本校では「学び合う力」を学力の核と捉え、個の学力向上とともに学習集団の育成をめざしている。めざす「高まりのある学び合い」とは、課題について子どもがそれぞれの知識・経験を生かして自らの考えを表現し、集団で考えを練り合わせながらよりよい解決へと向かい、その中で課題解決に向けた一人一人の思考力、判断力、表現力が養われていくことだと考える。発達段階の違いや教科の特性、指導内容に応じた学び合いのあり方を考慮し、授業の中でめざす姿を明確にして、学習のねらいに応じた子ども主体の授業、即ち課題解決型の授業を創造する必要がある。

イ. 言語活動の充実

そういった学び合う学習の基盤づくりとして重要なのが、言語活動を充実させることである。実態をふり返ると、自分の考えや思いを表現することはできても、それにつなげて発言したり自分の考えと比べながら聞いたりする力がまだ弱く、学び合いを高めていく難しさを感じる。そこで、相手を意識して「話す力」「聞く力」を身に付けさせ、考えた根拠や筋道を明確に全体場で表現できる子を育てていこうと考え、副題を「相手意識をもって話したり聞いたりする授業を通して」と設定した。

(3) 研究の重点

＜めざす子どもの姿にせまるために＞

① 課題とまとめの工夫

- ・ 取り組む必然性のある（取り組みたくなる）課題づくり
- ・ 学び合いの展開を意識した課題づくり
- ・ 教科の特性やねらいに応じた課題づくり
- ・ 課題の持たせ方や発問の工夫
- ・ ねらいに沿ったまとめの工夫
- ・ 児童の言葉でまとめられる展開の工夫

② 互いの考えを深め合うための工夫

- ・ 話したい、聞きたいと思わせる場の設定
- ・ どの子も自分の考えをもち話せる手だて
- ・ みんなに分かるような話し方をさせる手だて
- ・ 思考の流れが分かる板書の工夫
- ・ 学習形態の工夫(ペア, グループ)
- ・ 互いの考えを聞き合える集団づくり

(4) 年間計画

① 事業予定

学習指導部会で作成された原案を全体研究会、ブロック別研究会で協議し、共通理解を図る。

授業研究を中心に研究実践を行うとともに、全員が学力向上に向けた取り組みを中心に進める。
また、校外での研究視察や講師招聘による校内研修会を行い、授業力向上に努める。

25年度研修計画

月	学習指導部会	研究・研修内容	授業研究（学年・ブロック・全体の研究会）
4	<ul style="list-style-type: none"> 朝自習の計画 家庭学習の提案，共通理解 読書計画年間計画 	<ul style="list-style-type: none"> 研究体制，組織，研究主題と副題，研究の重点 「めざす子どもの姿」共通理解 年間計画，授業計画 年間計画作成（教科・道徳・特活・総合） 基礎学力調査（4～6年） 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の実態把握，つきたい力 研究授業の教科・単元等決定 めざす学び合いの姿
5	<ul style="list-style-type: none"> めざす学び合いの姿 指導案の形式 	<ul style="list-style-type: none"> 全体研究授業（模擬授業・事後研・ミニ研修会） 研究の重点，指導案形式等の検討 学力向上プランの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ★提案授業 4－1 高崎「国語」 ブロック研究授業 5－1 奥本「算数」
6	<ul style="list-style-type: none"> 指導主事訪問を受けてのふりかえり 	<ul style="list-style-type: none"> 前期指導主事 A 日程 全体研究授業（模擬授業・事後研・ミニ研修会） 	<ul style="list-style-type: none"> ★全体研究授業① 5－2 遠田「算数」 ブロック研究授業 2－1 南「国語」 2－2 塩谷「算数」 3－1 楠「国語」 6の2 今村「国語」
7	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力調査の入力データ分析 学習環境の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 全体研究授業（模擬授業・事後研・ミニ研修会） 1学期の振り返りと研究内容の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ★全体研究授業② 1－2 高澤「算数」 ブロック研究授業 1－3 太田「国語」 4－2 表「算数」 6－1 杉本「算数」 5－3 末吉「算数」 児童の変容，つきたい力
8	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力調査の入力データ分析 学習環境の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 2学期の取り組みについて 研修会の還流 発表会指導案の検討会（国語部会，算数部会） 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力調査のデータ分析 学習環境整備 指導案の作成
9		<ul style="list-style-type: none"> 学力調査の結果分析と具体的取り組みの共通理解 	<ul style="list-style-type: none"> ブロック研究授業 1－1 本田「国語」 4－3 島崎「国語」
10	<ul style="list-style-type: none"> 研究発表会に向けて 	<ul style="list-style-type: none"> 学力向上プランの見直し いしかわ学びの指針 12 か条推進校指定事業 	<ul style="list-style-type: none"> 研究発表会 10/30
11	<ul style="list-style-type: none"> 研究発表会のふりかえり 	<ul style="list-style-type: none"> 後期指導主事訪問 B 日程 全体研究授業（模擬授業・事後研・ミニ研修会） 	<ul style="list-style-type: none"> ★全体研究授業③ 3－2 燈明「国語」 ブロック研究授業 わかば 井上「生単」
12	<ul style="list-style-type: none"> 指導主事訪問を受けてのふりかえり 	<ul style="list-style-type: none"> 2学期の振り返りと研究内容の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ブロック研究授業 松村「理科」 澤田「算数」
1		<ul style="list-style-type: none"> 3学期の取り組みについて 	
2	<ul style="list-style-type: none"> 研究総括（成果，今後の課題） 	<ul style="list-style-type: none"> 次年度教育課程年間計画の見直し・作成 研修会の還流 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の変容，つきたい力 本年度のふりかえり
3	<ul style="list-style-type: none"> 来年度研究の方向付け 	<ul style="list-style-type: none"> 本年度のまとめと来年度に向けての方向付け 	

② 研究授業計画

授業研究を通して実践の交流・深化を図る。

全体研究授業は1学期に2回，2学期に1回（低・中・高から1名ずつ）とし，模擬授業・事後研は全体で行う。わかば，ひばりの授業は，事前研・事後研ともに所属学年部会で行う。

	5月	6月	7月	9月	10月30日（発表会）			11月	12月
					国	算	他		
低学年部会		○塩谷 ○南	◎高澤 ○太田	○本田	太田 本田 南	高澤 塩谷			
中学年部会	★高崎	○楠 ○能田	○表	○島崎	楠 燈明 島崎	表		◎燈明	○松村
高学年部会	○奥本	◎遠田 ○今村	○杉本（少） ○末吉		今村 奥本	遠田 杉本（少） 末吉 澤田（少）	井上 佐野	○井上	○澤田（少） ○佐野

★提案授業

高崎

◎全体研究授業（3回） 低（高澤） 中（燈明） 高（遠田）

○ブロック研究授業 低（太田）（本田）（南）（塩谷）

中（楠）（表）（島崎）（松村）（能田）

高（奥本）（末吉）（今村）（杉本）（澤田）（佐野）（井上）

(5) 研究組織

